（第三種郵便物認可 大正八年三月七日）　昭和七年十一月十七日　THE IWAKIJIHO　（木曜日）　（第五千六百三十二號）（一）

十六日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五拾錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

流失された稻束 百萬束に達す

拾ひ上げたもの僅か三万把

平署で分配方法協議

十四日夜の暴風雨で石城地方に於ては刈上げておいた稻束が無きに上つてゐるので平署では分數に流失した事昨報の如くであるが、平消防組その他が出動して拾ひ上げたもの鎌田橋に於て七千把、月見町三千把、四軒町千五百把、夏井村六十枚橋附近七千把、合計三萬把で消防組その他で保管中であるが、流失されたと申告した者平町のみで堂の前千代幸三郎外九十二名二千二百五十把で、關係町村の申告を合すれば九萬八千五百把の多數に流失した事昨報の如くであるが、平消防組その他が出動して拾ひ上げたもの鎌田橋に於ての結果各町村農會の調査により七千把、月見町三千把、四軒町千五百把、夏井村六十枚橋附近於て流失されたものは三分の一七千把、合計三萬把で消防組その他で保管中であるが、流失された見込みである。尚ほ拾ひ上げた稻束は三十分の一位は戻される見込みである。

配方法に困つたので十六日午前平消防組、郡農會の幹部と協議して分配する事になつたが、大體に於て流失されたものは三分の一位は戻される見込みである。尚ほ拾ひ上げた稻束は三十分の一位の見當であるから流されたの前千代幸三郎外九十二名二千數二百七十萬束位に達する模樣である。

難破した二雙の 慘死者判明す

死体は一名たけ發見

盛勝丸と寶來丸の乘組員

昨報大浦村新舞子海岸に漂着した難破船江名町後藤清八所有發動機船十九噸五十五馬力の盛勝丸乘組員中奇跡的に生命を取り止めたものは船長坂本義松の外坂本欽吉、坂本勝男、鈴木廣の四名で、死亡者は左の如く死體は全部判明しない。

▲死亡者

豊間村鈴木惣三郎（五〇）江名町佐藤岩次（三一）佐藤熊吉（三三）掛田勝男（四〇）坂本留吉（三三）四家爲吉（三六）

高久村大字上高久海岸に漂着した双葉郡久之濱町大字江の網の秋刀魚船寶來丸七十馬力三十五噸は船中を調べた處機關室には溺死した機關手櫻井周助（二七）の死體があつたゝけで他の乘組員は一名も發見されず全部溺死した事が判つた、その氏名左の如し

▲江の網紋羽善七（四〇）紋羽善吉（二二）高梨平七（四〇）小峰德太郎（三五）鈴木金之助（三四）片山捨吉（三五）鈴木勝太郎（不明）鈴木善三（不明）

▲四倉町鈴木千代松（四一）小泉寅之助（一九）鈴木勝雄（一七）小松洋一（三四）鈴木政雄（二五）四家藤吉（二五）

▲小名濱町小野留吉（一七）

喜榮丸と天洋丸 遭難確實と見らる

何れも江名の遠洋漁業船

乘組員一一十六名の氏名

石城郡江名町大字江名金成彌吉所有（〇神丸）、比佐德松（天洋丸）、古川金一郎（慶德丸）、白土德兵衛（良德丸）、小松金次郎（開運）、加澤一造（萬盛丸）、佐藤助郎（清正丸）、坂本喜十郎（喜榮丸）、黑川喜一郎（喜榮丸）の作高橋實太郎（第二東丸）の十隻であるが、右のうち黑川喜一郎所有喜榮丸（六十五馬力十九噸半）比佐德松所有天洋丸（四十五馬力十八噸七分）の二隻は十一月十三日仙臺方面に向け出帆したもので、之は沖合に於て遭難したものと見られてゐる。

▲黑川喜一郎所有（喜榮丸）

船長中田喜三郎、機關手內山勝、漁夫中田熊吉、黑川寅太坂本萬治、沼田辰次、坂本金治、石貝良吉、氏家豊治、佐藤萬治、田澤丹之丞、齋藤兵作、坂本松吉、坂本酉吉、佐藤瓶治、（以上十五名）

▲比佐德松所有（天洋丸）

船長長山休、機關手佐藤勝夫漁夫長山政吉、飛田靜太郎、小泉元〇、南勝吉、菅原富太郎、今野瀧太郎、鈴川繁松、長谷川豊吉、氏家藤太郎、（以上十一名）

豊間の三雙 無事入港

豊間村に於ける消息不明の漁船中遠藤々之亟所有（寶珠丸）、四家喜七所有（進榮丸）の二隻は江名港へ、鈴木喜八所有（福喜丸）は平潟港へ何れも十六日朝無事入港した、尚ほ四家常松所有（金盛丸五十五馬力十五噸）のみは未だ消息不明である、金盛丸乘組員左の如くである

四家信之助（二九）同勝（二二）同福次郎（二三）同捨吉（三三）鈴木健太郎（三五）針山德松（二四）四家重吉（三七）遠藤初太郎（二四）鈴木幸太郎（四五）鈴木眞（十五）遠藤繁七郎（十七）同健太郎（三七）四家喜八郎（二六）同勇（二三）

保險金四千圓に 目がくれて放火

昨夜犯行一切を自白

犯人平刑務所に收容

去る十四日午前零時半頃平町久保町二七車大工武石常右衛門方風呂場から發火し大事に至らず消し止めた事既報の如くであるが、平署で實地檢査を行つた處隣家の車製造業遠藤忠治（三三）方裏からも同時刻に發火した事實があるので放火と睨み刑事總出動で捜索の結果十四日夕刻有力な嫌疑者として前記遠藤忠治（三三）を平署に引致し高橋警部補が取調中の處十五日夕刻に至り犯行一切を自白した、遠藤は日本簡易火災保險株式會社に四千圓の火災保險契約をなしてゐるので右保險金詐取の目的で新聞紙に石油を注ぎ放火したものであつた、犯人遠藤は十六日平刑務所に收容された。

海岸に打ち揚げられたが、乘組員は無事で貨物は大部分流失し損害一萬三千圓の見込みである

發動機船 五隻大破

小名濱町字上町丹義之助所有發動機船萬盛丸、同小港高木善吉大高丸、同字下町馬上政二第一盛德丸、同小港中野由次郎所有發動機船の五隻は小名濱築港に繫留中激浪のため各船共大破した。

沈没と流失

發動機船と小船

小名濱町中野吉次郎所有發動機船共運丸、小野德三豊榮丸、水野政次郎共德丸の三隻は小名濱築港內で十五日朝沈没、水野政次郎、野崎長七郎、松原唯七三氏所有小船三艘は繫留中行衛不明となつた、同竹永重三所有重運丸は陸に打ち上げられた。

▲アグリ網流失　小名濱字古港水野政次郎所有アグリ網は十五日朝流失損害二千五百圓である。

第二明神丸の漁夫 沖合で三名溺死

十六日朝辛うじて歸港

小名濱字中坪比佐賢三所有發動機船第二明神丸は十五名乘込み出漁したまゝ消息不明であつたが、漁夫小松吉五郎（四九）小林菊三郎（三七）村澤安藏（二一）の三名は沖合に於て轉落溺死し他の十二名は無事で十六日朝小名濱港に入港した。

發動機船 二雙沈没

小名濱町字小港野崎眞德所有諏訪丸、同小野治郎八所有發動機船小名濱築港內に繫留中沈没した損害二千圓である。

藝妓全部に 衛生講話

平警察署では健康週間最終の催ほしとして十六日午後一時から平署管內の藝妓全部を會議室に集め小田部署長が衛生上の講話をなした。

▲公傷手當交付　平警察署管內消防組員中左の五名は火災の際負傷したので左の如く公傷手當を交付された。

▲平組大久保善八五圓、吉野金吾六圓、山崎辰藏七圓、田中宣治七圓

▲高久組矢吹文郎二十圓

▲惠比須丸歸港　小名濱町小港小野寅之助所有惠比須丸は十六日朝無事歸港した。

靜岡の運送船 小名濱海岸で遭難

靜岡縣沼津市我入道三五二番地國本一郎兵衛所有運送船與國丸は船長後藤熊太郎（五〇）外五名乘込み漁獲物一萬噸並に桐板を滿載し小名濱港に入港中暴風雨に遭ひ十四日夜小名濱町字西町堤防三十間は全滅した。

▲築港工事損害　內務省に於て工事中の小名濱築港岸壁百間は暴風雨のため欠潰、假事相談所を訪れ歸國路費の交付をうけ立去つた。

▲四倉署に縋る　石城郡田人村大字南大平字坪內二番地生れ無職小野庄太郎（五九）及び新潟縣北蒲原郡新發田町字立內町生れ染物職齊藤子之吉（二一）の兩名は十四日四倉署內人事相談所を訪れ歸國路費の交付をうけ立去つた。

▲平町浸水家屋

平町に於ける浸水家屋數はその後の調査によれば大体左の如くである。

仲間町三九戸、鷹匠町四戸、番匠町二十戸、白銀町十五戸、柳町二戸、梅ヶ町二戸

▲各地水害狀況

△平窪村床上浸水四三戸、床下三五戸、耕地一五〇町歩、流水失稻百町歩（二萬圓）畑五十町歩

△赤井浸水田五十町歩

△湯本町關船地内湯川堤防百間欠潰四百圓

△江名町浸水家屋床下四戸、外住家四棟流失千圓、道路欠潰二ヶ所百間五百圓、橋流失一ヶ所三百圓

▲少女溺死

石城郡上小川村大字竹下健造二女吉田カネ（七ッ）は十五日午後四時頃自宅前小川に轉落溺死した。

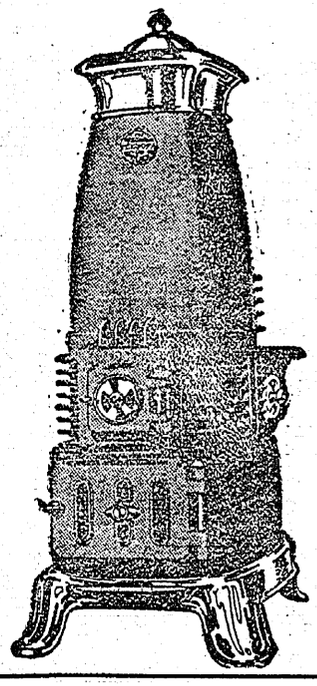
木炭縣營檢査反對理由

（その四）　濱三郡木炭同業組合（寄）

此の見地より經營困難の小組合は適當に合同を慫慂し、經營の容易を計り組合檢査を助成し完璧を期すること最も合理的たるべし。

五、縣營檢査實施する曉は組合解散より途なし、縣下組合は檢査料を中心歲入とし組合員賦課割を補充收入として組合存立經營を爲しあるを以て檢査移管とする時は歲入の大部分と賦課金取扱者たる檢査員を喪失することゝなり組合生存の能力を缺くに至るを以て當然解散より途なく、更に組合に於て生産檢査其他收入すべき事業を爲す時は木炭業者の二重負擔となり現時の狀況絶對之れを許さず。

嚴冬の征服者
福祿ストーブ
戸毎に福祿



四海は常春
電話三七番へ　カタロク御申越下さい
早速持參致します
福祿ストーブ　平停車場前
福島縣一手販賣　㊫　阿部石炭店

三河産業博覽會
昭和産業博覽會　金牌受賞
かまぼこ製造
儀式用
折詰仕出
平町一丁目
お惣菜用
さつま揚
吉原揚
藤
電話一四一番

看護婦派出の需めに應じます
平看護婦會
會長　清野キヨ
平町字南町【電話三〇七番】

縣下第一代表銘酒
銘酒　紫川　入賞
於福島縣第八回清酒品評會
最優等賞
首席優等賞　受領！
入賞御披露のため
原價特賣をいたします
銘酒　紫川　一升　一・二〇
（但し十一月十五日限り）
平町販賣店
白銀町　石川酒店
材木町　緑川酒店　電四八六番
鍛治町　谷口酒店　電二四六番
田町　永山酒店　電二〇七番

近日賣出す發賣品は
滿洲……？
一人前十五錢で滿腹
平町三丁目
せ魚屋食堂
電話六三三番

磐城共濟病院案内
院長　醫學博士　石山謙郎
自宅電話一二四番
内科　醫學博士　石山謙郎
小兒科　醫局員　佐久間粹
外科耳鼻咽喉科皮黴科　醫學博士　桂重次
醫學士　有馬勇二郎
産婦人科　醫學士　五十嵐雄二
醫局員　佐久間粹
X光線科　醫學博士　石山謙郎
技師　工藤慶造
衛生試驗所　醫學博士　石山謙郎
技師　高後利雄
藥局　藥劑士　吉本孝平
◎診療時刻午前八時より午後五時迄
但急患は此の限りに非ず
平町　磐城共濟會
電話六四一番

カニ石鹸
生命と信用を賭して精選せる純良の質と……量……
最後の一片が消え去る迄優雅な香が續く……
化粧用　一ヶ十錢　壹打一圓二十錢
洗濯用　一ヶ十錢　壹打一圓
ツルヤ
平町4　電140

かまぼこ
折詰仕出し
御惣菜用さつま揚、吉原揚
平町二丁目
藤市蒲鉾店
電話三〇五番